

従業員への責任と行動



ムラタグループの国内事業所における育児休職の取得率

100%
(復帰率:93%)

短時間勤務の経験を生かして、スマートな働き方をリードする。

私は工学部電気電子工学科を卒業し、2000年にムラタに入社しました。当時のムラタには女性の総合職は少なく、私とその部門に配属されたのは初めての女性総合職でした。そこで商品設計を担当し、お客様に近いところでやりがいのある仕事をさせてもらっていました。そんな私に転機が訪れました。2004年、出産準備のために産休をとることになったのです。総合職として仕事を続けられるか、不安もありましたが、周囲の方の後押しもあり、産休・育児休暇を経て働き続ける決断をしました。復帰後は、子供を保育園に預けて送り迎えをするため、短時間勤務に入りました。出産前とは異なり、短時間勤務でも仕事の成果を出す必要があるため、私なりに仕事の段取りなどの工夫が必要でした。目標に最短距離で到達するための実験手法の模索や、その案件に詳しい上司や同僚の“知恵”を引き出す。やり方次第で、同じ成果を出すのにも時間はすいぶん短縮できる、ということを実感しました。

私の現在の仕事は、製品が壊れるまで負荷をかけその弱点を見極め、壊れたメカニズムを解析する課題抽出業務をしており、部内では「壊し屋」と呼ばれています。この仕事は製品のスペックに直接反映するものではありませんが、試験結果を開発メンバーにフィードバックし、製品の

品質や安全性の向上につなげることで、ムラタのものづくりの根幹を支えています。全社的には壊れるまで試験をするという文化は浸透しているとはいえませんが、この「壊し屋」の知見やスキルをじっくりと時間をかけて社内に根付かせていくことも自分の役割と自覚しています。

女性ならではの視点は、ムラタでも会社の成長に伴って、ますます重要になってきています。私が入社した時と比べて、女性の総合職はムラタにも文系、理系問わず増えてきていますし、これからも増えてくるでしょう。ムラタでは女性が活躍出来る支援制度があり、職場の理解やサポートも受けられる環境が整ってきていると感じています。

今私は、子供も大きくなり、短時間勤務を終えてフルタイムの勤務に戻っていますが、短時間勤務の限られた時間のなかで成果を追求する経験を積んだことは今も生きていると感じています。これからお母さんになって、私と同じように働き続けるみなさんには、残業ができないなど、焦りを感じる時期もあると思います。でもそのような時も、あまり気負わず、カバーしてくれる周りへの感謝の気持ちを持って働いてほしいです。そして、復帰後には長時間勤務に頼らない働き方を職場でリードできる存在として活躍し続けてほしいと思います。

[女性の活躍推進]

家庭、そして職場でも、必要とされる自分であるために。
“女性の活躍”が期待される職場。

株式会社村田製作所
新規商品事業部
製造・材料技術1部
佐藤 貴子

マレーシアの土壤にムラタの理念を根付かせ、ムラタマレーシアの一員としての誇りを持つ。

グローバルな人事交流の一環として、私たち4人はMurata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd. (以下、ムラタマレーシア) から日本の登米村田製作所に出向しました。主な仕事は、積層コイルに関する技術開発、工程改善、不良率の削減、部品の評価などです。そのような技術的な取組みと並行して、社是についてのワークショップに参加し、ムラタの経営理念について学びました。それまでムラタマレーシアでは社是の教育はほとんどおこなわれておらず、私たちも最初は理解するのに苦労しました。しかし、学んでいくにつれ、私たちが毎日それぞれの職場で取り組んでいることは、「技術を錬磨し」「科学的管理を実践し」「独自の製品を供給して」など、社是の実践に他ならないという思いに至りました。そして、私たちは登米村田製作所で学んだ技術と共に社是の精神を携えてムラタマレーシアに戻りました。

2012年、私たちはムラタマレーシアで社是の精神を共有するためのプロジェクトを立ち上げました。マレー語の資料を用意することに

加え、社是のワークショップやムラタブランドのことをよく知ってもらうためのワークショップを開催しました。また、社是の精神に私たちが独自で大切にしたいキーワードを加え、「ムラタマレーシア・ベーシック」としてまとめました。マレーシア人である私たちが、私たちの言葉で、私たちが理解した社是の精神を伝えることに意味があると考えたからです。従業員からは、ポジティブなフィードバックがたくさん返ってきました。今では、多くの従業員がムラタマレーシアの一員であることに誇りを持ち、また、毎日の仕事のなかで社是が行動や判断の拠り所となり、自分たちの職場環境をよりよくすることにつながってきていると感じています。

象徴的なのは「Thank you」という言葉が、社内でもよく聞かれるようになったことです。「ありがとう」とお互いに言い合うことで、仕事のモチベーションも上がってきます。これも、社是のなかにある言葉「これをよこび感謝する人びととともに運営する」が浸透してきたことの証しではないでしょうか。

- 1 朝礼で社是を唱和する様子
- 2 社是のワークショップの様子

[理念共有活動]

世界で共有しよう、大切なことは全て“社是”のなかにある。

写真左より
Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.
Production Department Production 2 Section
Kok Wah Ho

Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.
Production Department Engineering Section
Vigneswaran Subramaniam
Muhammad Ashraf Mahmud Ahmad

Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.
Production Department
Machine Engineering & Machine Design Section
Azrul Nizam Wahed

ムラタグループにおける経営理念のワークショップを開催した事業所数

国内: 20事業所
海外: 19事業所

